

「北海道自動車産業集積促進協議会(仮称)」設立趣意書

時下、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、我が国経済が回復を続ける中で、本道は回復基調にはあるものの、その足取りは緩やかであり、全国他地域と比較し、力強さに欠ける状況にあります。

こうした本道経済の活性化を図るためには、ものづくり産業力の強化による民間主導の自立型の経済構造への転換を図る必要があります。

そのためには、我が国経済をリードする加工組立型産業の重点的な振興を図る必要があります。特に裾野が広く、経済・雇用への波及効果が高い自動車産業については、昨年末から大手自動車部品工場の新增設など、道央圏を中心に集積が進みつつあり、こうした自動車産業の集積を更に加速させることが肝要であると考えております。

このため、北海道においては、自動車産業を重点業種とした企業誘致に取り組むとともに、本年6月には、産学官で構成する「自動車産業集積促進研究会」において、自動車産業の立地及び道内の基盤技術産業の自動車産業への参入の促進による自動車産業の集積を加速させるための方策について、取りまとめたところであります。

この方策では、本道における自動車産業の集積を促進するためには、産学官で構成する推進組織を整備し、企業誘致等の強化、基盤技術産業の育成・振興、そして技術系人材の育成・確保に向けた取り組みを推進すべきとしております。

こうしたことから、自動車産業の集積促進を目指し、道内関係者が連携、協働して具体的な取り組みを行うため、この度、産学官からなる「北海道自動車産業集積促進協議会(仮称)」を設立することとしました。

本道の産学官が一体となって自動車産業の集積に向けた取り組みを推進することは、会員個々の利益のみならず、本道「ものづくり産業」の競争力を高める上からも有意義なことと存じます。

つきましては、本協議会設立の趣旨をご理解いただきまして、自動車関連企業、これから自動車産業への参入を検討されている企業、更には本道の自動車産業集積促進にご協力をいただける金融機関・教育機関・団体・行政等の皆様方に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

平成18年7月

設立発起人 北海道知事 高橋 はるみ
北海道経済連合会会長 南山 英雄
(社)北海道商工会議所連合会会頭 高向 巖
(社)北海道機械工業会会長 星野 恭亮